自転車利用実態定点調査報告

平成27年 10 月

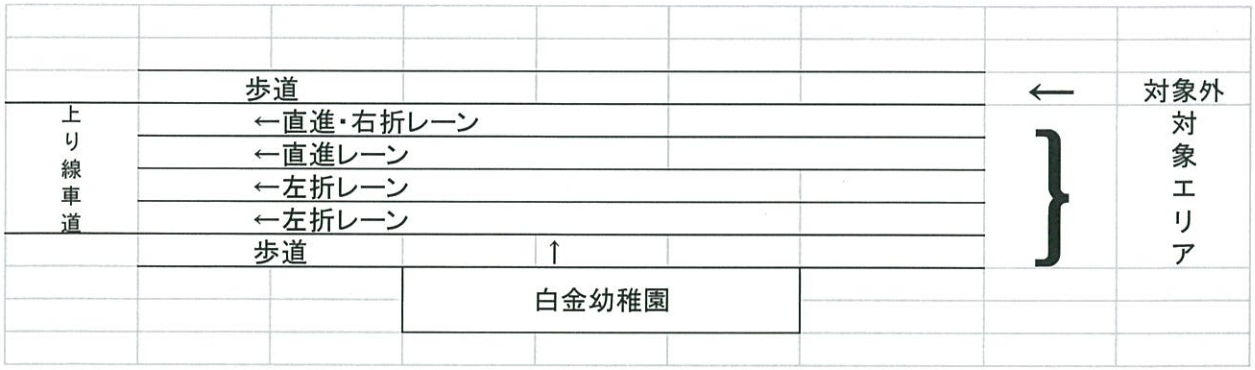
(一財)日本自転車普及協会

調査目的　自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

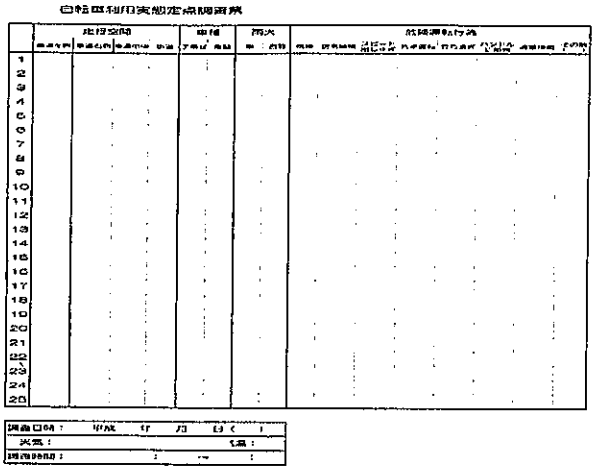
調査日時　平成27年 9 月 16 日
[午前]9:00～10:00

調査場所　・ 白金幼稚園前 (庭園美術館西交差点(首都高速目黒線直下)から 70m 程の上り坂)

概　要　・ 調査対象(車道線:目黒通り上り 4 車線及び歩道:幅員 3.1m
[一部歩道橋橋脚部分 1.5mあり])
調査対象外(反対側上り歩道)



調査事項　走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査



＜調査票＞

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、16%であり、また、車道中央走行率も、21%、依然、歩道を通行する自転車が多く、全体の 6 割強を占めている。

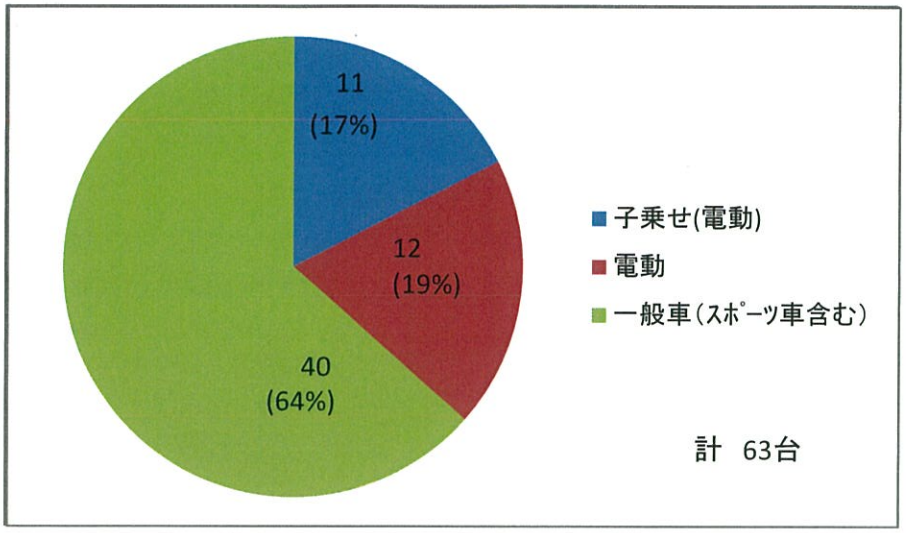
◎危険運転行為(違反行為を含む) は、肩に荷物(6 件)・子乗せ後部席に荷物掛け(5 件)・ハンドルに荷物(3 件)・片手運転(2件)・立ち漕ぎ・ジグザグ運転(各 1 件)の順となっている。

【総合】

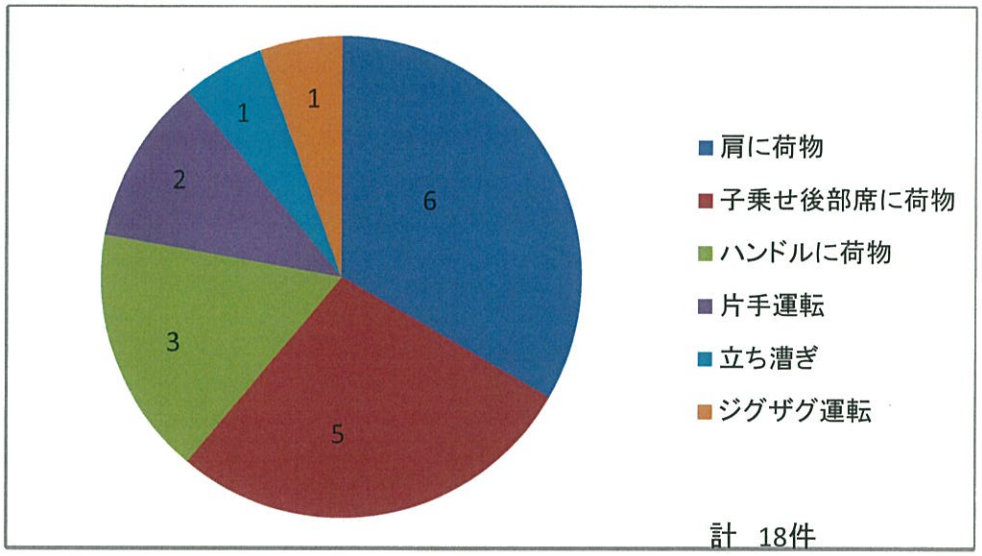
今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の 9/15 午前)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

・車道左側走行率

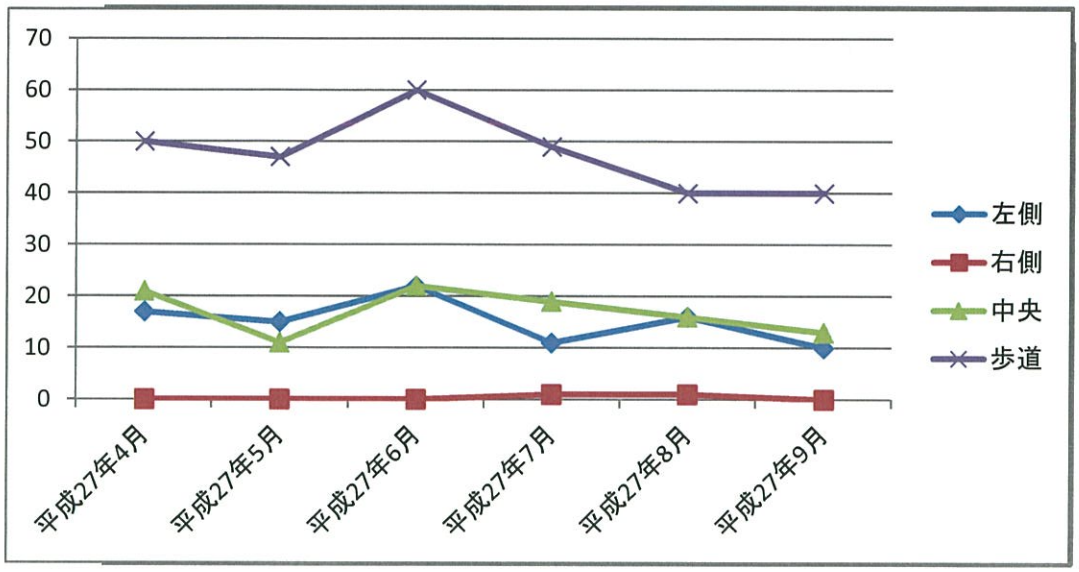
今回(16%)に対し、前回 (22%)の約 7 割の水準。
上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・16%)に対し、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・19%)の約 8 割強の水準。



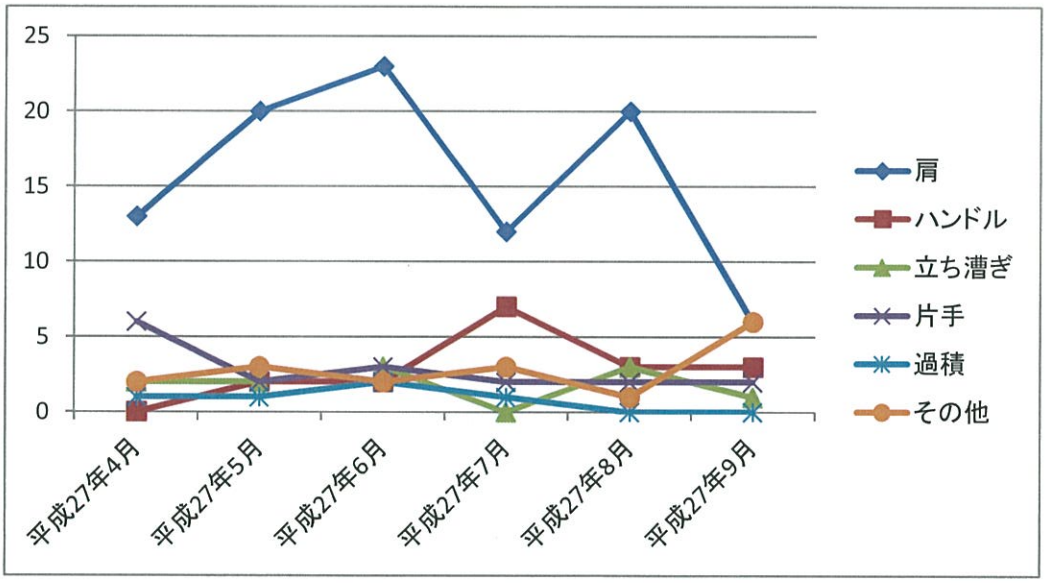
車　種



危険運転行為　　（違反行為を含む）



走行空間　　（台）



危険運転行為　（違反行為を含む）　　（件数）